

2009年5月期

決算説明資料

- 2009年5月期 決算概要
- 2010年5月期 業績見通し
- 今後の経営方針および展望

2009年7月3日

 **三菱産業株式会社**

2009年5月期 決算概要

連結決算実績

(単位:百万円)

	2007年5月期		2008年5月期		2009年5月期		
		百分比		百分比		百分比	前期比
売上高	34,601	100.0%	37,034	100.0%	26,449	100.0%	-28.6%
売上総利益	3,234	9.3%	3,245	8.8%	2,248	8.5%	-30.7%
販売費及び 一般管理費	2,257	6.5%	2,314	6.3%	2,080	7.9%	-10.1%
営業利益	976	2.8%	930	2.5%	168	0.6%	-81.9%
経常利益	1,104	3.2%	950	2.6%	253	1.0%	-73.4%
当期純利益	620	1.8%	493	1.3%	126	0.5%	-74.4%

分野別 連結売上高実績

(単位:百万円)

	2007年5月期		2008年5月期		2009年5月期		
		構成比		構成比		構成比	前期比
自動車	14,663	42.4%	15,926	43.0%	11,595	43.9%	-27.2%
民生	-	-	-	-	6,084	23.0%	-
アミューズメント	8,563	24.7%	7,180	19.4%	4,741	17.9%	-34.0%
その他	11,375	32.9%	13,927	37.6%	4,028	15.2%	-27.4%
合計	34,601	100.0%	37,034	100.0%	26,449	100.0%	-28.6%

※2009年5月期より「その他」から民生分野向け売上高を「民生」として分離。前期比は「その他」に含めて計上。

品目別 連結売上高実績

(単位:百万円)

	2007年5月期		2008年5月期		2009年5月期		
		構成比		構成比		構成比	前期比
半導体	11,397	33.0%	11,392	30.8%	7,924	30.0%	-30.4%
液晶	3,701	10.7%	2,976	8.0%	1,704	6.4%	-42.7%
電子部品	5,058	14.6%	3,529	9.5%	2,955	11.2%	-16.3%
ユニット・アセンブリ	9,765	28.2%	11,939	32.3%	7,252	27.4%	-39.3%
その他	4,679	13.5%	7,195	19.4%	6,612	25.0%	-8.1%
合計	34,601	100.0%	37,034	100.0%	26,449	100.0%	-28.6%

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2008年5月期 期末	2009年5月期 期末	増減
流動資産	11,229	8,467	-2,762
現金及び預金	1,237	1,363	+125
受取手形及び売掛金	7,430	5,128	-2,301
たな卸資産	2,181	1,548	-633
その他流動資産	379	427	+47
固定資産	1,677	1,821	+144
資産合計	12,906	10,288	-2,618
負債	7,940	5,367	-2,573
支払手形及び買掛金	4,934	3,574	-1,359
有利子負債	2,421	1,430	-991
その他の負債	584	362	-222
純資産	4,966	4,921	-45
負債純資産合計	12,906	10,288	-2,618

2010年5月期 業績見通し

連結業績見通し

(単位:百万円)

	2009年5月期		2010年5月期						
	通期		上期		下期		通期		
	実績	百分比	予想	百分比	予想	百分比	予想	百分比	前期比
売上高	26,449	100.0%	13,500	100.0%	15,000	100.0%	28,500	100.0%	+7.8%
売上総利益	2,248	8.5%	1,000	7.4%	1,120	7.5%	2,120	7.4%	-5.7%
販売費及び一般管理費	2,080	7.9%	910	6.7%	930	6.2%	1,840	6.5%	-11.5%
営業利益	168	0.6%	90	0.7%	190	1.3%	280	1.0%	+66.6%
経常利益	253	1.0%	110	0.8%	220	1.5%	330	1.2%	+30.4%
当期純利益	126	0.5%	70	0.5%	140	0.9%	210	0.7%	+66.2%

分野別 連結売上高見通し

(単位:百万円)

	2009年5月期		2010年5月期						
	通期		上期		下期		通期		
	実績	構成比	予想	構成比	予想	構成比	予想	構成比	前期比
自動車	11,595	43.9%	5,700	42.2%	5,900	39.3%	11,600	40.7%	+0.0%
民生	6,084	23.0%	4,000	29.6%	4,800	32.0%	8,800	30.9%	+44.6%
アミューズメント	4,741	17.9%	2,400	17.8%	2,400	16.0%	4,800	16.8%	+1.2%
その他	4,028	15.2%	1,400	10.4%	1,900	12.7%	3,300	11.6%	-18.1%
合計	26,449	100.0%	13,500	100.0%	15,000	100.0%	28,500	100.0%	+7.8%

今後の経営方針および展望

当社グループにおける2010年5月期の年度経営方針スローガンは
“世界が変わる！経済が変わる！ミタチを変える！”です。

《 年度経営方針スローガン 》

**世界が変わる！
経済が変わる！
ミタチを変える！**

日々会社の変革に取り組み、新しい時代に移ってまいります。

《 経営方針のポイント 》

- ◆ **商社機能の強化**
 - 既存ビジネスのさらなる深耕
 - 新規商材拡充・新規顧客開拓推進
 - 中国ビジネス拡大

- ◆ **新規ビジネスへの挑戦**
 - 新規事業へのチャレンジ
 - メーカー機能強化

- ◆ **効率的かつ効果的な経営の追求**
 - 中央集権型組織から自立型組織に転換
 - ローコスト経営の推進

自動車関連市場は今、大いなる変貌を遂げようとしております。

変わる



市場の潮流

- 米大手自動車メーカー破綻
- 環境対応車拡大（低公害・小型化）
- 低価格車の需要増および生産の海外シフト
- 国内市場の縮小および新興国市場の拡大



- ◆ハイブリッドカー向け商材を拡販
- ◆中国での営業体制強化（香港、上海、深圳）

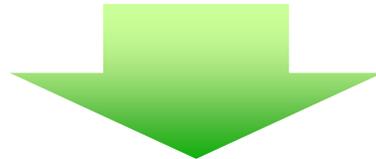
次世代光源・照明市場では今まさに“光革命”が始まろうとしています。

変わる

市場の潮流



- エコポイントでエコ家電の普及が加速
- 2011年 地上デジタル放送完全移行
- 2012年 白熱電球原則廃止
- LED応用製品および同市場が急拡大



- ◆ 海外における生産体制・品質管理体制を強化
- ◆ 関連商材の開拓推進およびラインナップ拡充

今後の展望 ヘルスケア関連市場① ミツミ産業株式会社

ヘルスケア（健康・医療）関連市場は急速な拡大を続けております。

変わる

市場の潮流



- 2008年 メタボ検診スタート
- 日本は超高齢社会に突入
- 医療崩壊の危機により同分野の生産性向上が緊急課題に



- ◆ 自社ブランド製品で健康器具市場に参入
- ◆ 医療機器メーカー向けカスタム開発事業を推進

高濃度酸素空気発生器

オキシフィット

OXYFIT



ノウハウの蓄積とシナジーにより自社製品の
新規開発&販売を促進！



- 商品企画
- 市場調査
- 販売チャネル

相乗効果 

カスタム開発

- 設計開発
- 製造

新規ビジネスへの挑戦

優良なロケーションとコンテンツで全国展開を図る「コンテンツ・プリンティング事業」

無線通信・タッチパネル・動画再生機能を備えた自社製品「多機能情報モニタ」



融合

「デジタルサイネージ」ビジネスへ

[参 考]

ミタチ産業グループの概要

会社概要

本社所在地：名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
設立年月：1976年7月（創業年月：1972年9月）
資本金：5億2160万円
代表者：代表取締役社長 橘 至朗
従業員数：連結585名、単独135名
上場市場：東証一部・名証一部
事業内容：半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造ほか

《 シンボルマーク 》



●社名およびシンボルマークの由来

ミタチの社名は「三つ（お客様、仕入先様、当社）で立つ」という三位一体の精神に由来しています。そして当社のシンボルマークは、ミタチの頭文字でもある「M」と「ガールの水道橋」のアーチの形をモチーフに生まれました。「ガールの水道橋」は、ローマ帝国の時代に生命をつなぐ水を運ぶという大きな使命を果たしました。2000年の時を超え、なお存在し続けるこの橋のように、「いつまでもお客様と仕入先様をつなぐ架け橋でありたい」と願う当社の経営理念が、このシンボルマークに凝縮されています。



▲ ガールの水道橋

グループの構成

ミタチ産業グループは国内2社、海外5社の計7社にて構成されています。

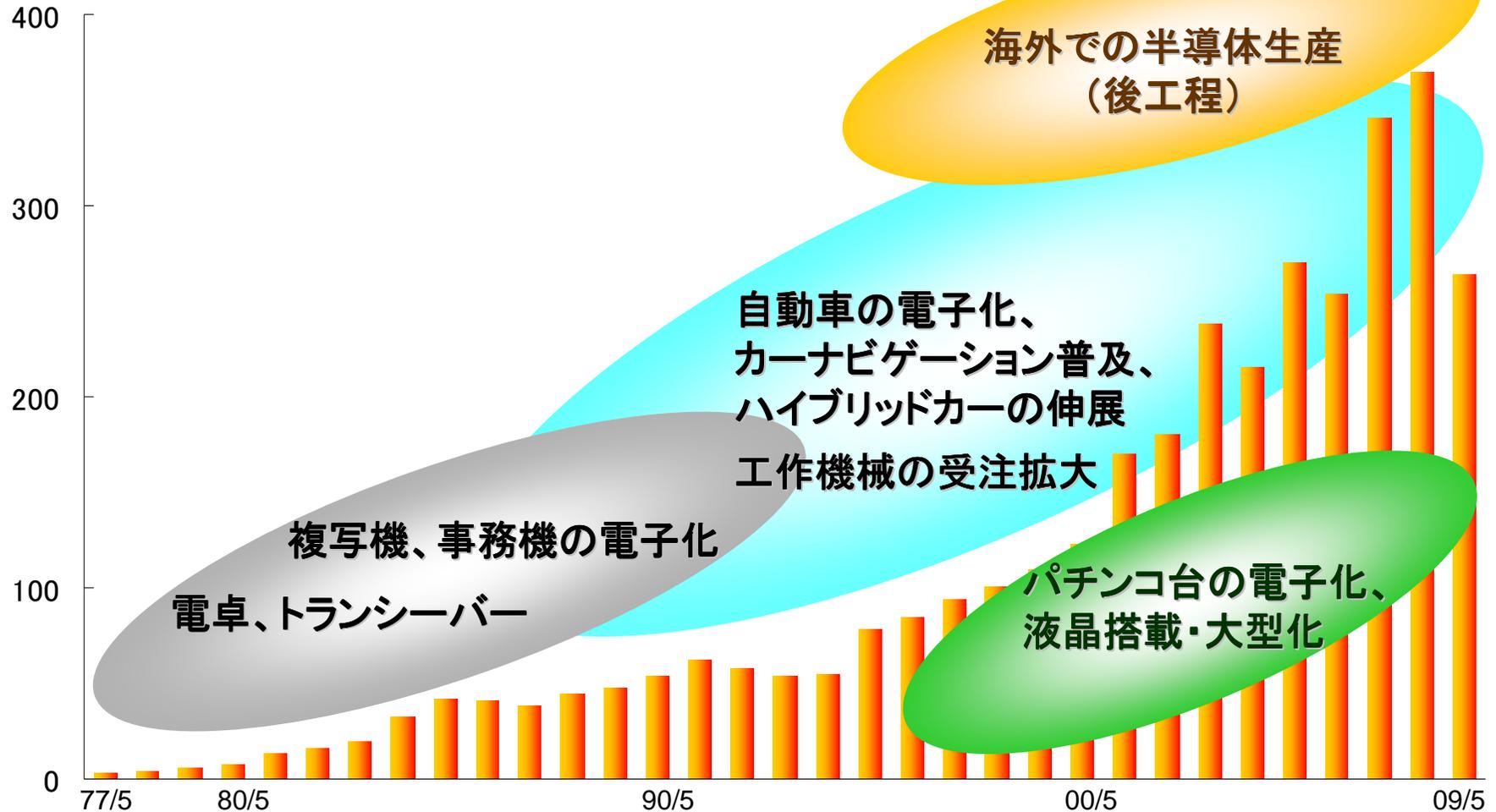


	主な機能・役割
ミタチ産業	半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
大洋電機	電子部品の製造、電子機器のOEM生産
M. A. TECHNOLOGY	光半導体、カーエレクトロニクス用制御基板、OA関連受託生産
美達奇（香港）	海外進出日本企業および現地企業向け商材の販売
台湾美達旗	電子部品の国内向け調達
敏拓吉電子（上海）	海外進出日本企業および現地企業向け商材の販売
美達奇電子（深セン）	海外進出日本企業および現地企業向け商材の販売

事業の変遷および業績推移

時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高: 億円)





<http://www.mitachi.co.jp>

お問い合わせ先：経営企画室

TEL：052-332-2512

URL：www.mitachi.co.jp/ir

[将来の予想に関する注意事項]

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。